

ふれあい

福井市足羽中学校
足羽中PTA・後援会
R 2 . 7 . 2 8



「さわやか足羽中」を あいさつで実現しよう



校長 野路 美智男

本来ならば、夏休みを前に全校集会を開いて、これまでの学校生活を振り返る話をするところですが、諸事情により全校集会の時間を確保できなかったため、今回は紙面にて「あいさつ」についてお話をしたいと思います。と言うのも、足羽中学校のスクールプランの中には、生徒の行動目標として、「自らあいさつできる」「いじめ、差別を許さない」「思いやりを行動で表す」の3つがあり、まずは、あいさつができてこそ、他の2つである「いじめ、差別を許さない」「思いやりを行動で表す」につながっていくと考えるからです。

さて、あいさつについてですが、私は、毎朝、麻生津郵便局前に立ち、登校する生徒のみなさんに「おはようございます！」と声をかけています。その際、生徒のみなさんの反応は、大まかに次の3つに分かれます。

- ① 黙って通り過ぎる（聞こえていない、聞こえていてもスルーする）
- ② 「おはようございます」とあいさつを返してくれる
- ③ こちらが声をかける前に、生徒の方からあいさつをしてくれる

みなさんは、①～③のどのタイプでしょうか？思春期ということもあって、あいさつに対して照れがあったり、「毎日、顔を合わせているのに、どうしていちいち、あいさつをしないといけないのか？」という疑問をもっているのかもしれませんが、また、せっかくだけに、私の耳に届かず、嫌な思いをさせてしまった人がいたとしたら、申し訳ないです。この場を借りて大目にみてもらえると助かります。

また、校舎内を歩いていると、すれ違うたびに生徒のみなさんは、あいさつをしてくれます。時には、授業中に先生が説明をしている中、「こんにちは」と教室内からあいさつをされることがあり、私のせいで授業を中断させてしまい、これまた申し訳なく思います。でも、自然とあいさつができる生徒に対して感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます！

さらに、上の③を超えた最高のあいさつを、足羽中学校の生徒がしてくれています。それは、学校の廊下ですれ違うとき、その場に立ち止まって笑顔でお辞儀をしてあいさつをしてくれるのです。きっと部活動を通して身につけたのだと思うのですが、私もその場に立ち止まってあいさつを返すようにしています。そうすると、今までしかめっ面だったはずの私の表情もやわらぎ、笑顔になることができるのです。このような場面を生み出してくれる生徒がいる足羽中学校を誇りに思います。

その一方で、課題もあります。7月に開かれた「子ども安心県民作戦活動促進会議」という足羽中学校区内の方が集まる会議の中で、「あいさつをしても中学生はあいさつを返してくれない」というご指摘がありました。不審者という案件もあって難しい場面も考えられますが、TPOに応じたあいさつを心がけてみるのはどうでしょうか。中学生のみなさんは、登下校の見守り隊や防犯隊などの活動をはじめ、目に見える形、目に見えない形

で地域の方々のボランティアによって支えられています。あいさつを通して地域に恩返しをし、「さわやか足羽中」を実現していきましょう。

最後にあいさつをすることをもとに、足羽中学校の校訓である「至誠の教え」（礼儀正しく、真心を持って相手の立場に立って考えられることを目指す教え）を生徒のみなさんが実践することで、一人一人の生徒が立派に成長してくれることを心から願っています。

7月3日（金）

「避難訓練」 例年通りの避難訓練はできず、各クラスで地震、火災、不審者対応について、担任から話を聞いて訓練を実施しました。



7月17日（金）

「激励会」 今年は、運動部の大会、文化部のコンクール等が中止になり、残念で寂しい気持ちでしたが、生徒会執行部が中心となって、足羽中伝統の「激励会」を実施しました。本校グラウンドには3年生の勇姿が見られました。



交通ルールを守りましょう

本校の8割の生徒が自転車通学をしています。年度当初には、「自転車通学のルールを守って通学する」と書いた誓約書を提出しています。しかし、「2列並進」や「一旦停止無視」、「車の前を自転車が何列にもなっていて危ない」、などの苦情が入ってきています。学校では、見回り活動を行っていますが、ご家庭でもご指導をお願いします。

交通ルールを守ることは、自分の命を守ることです。

